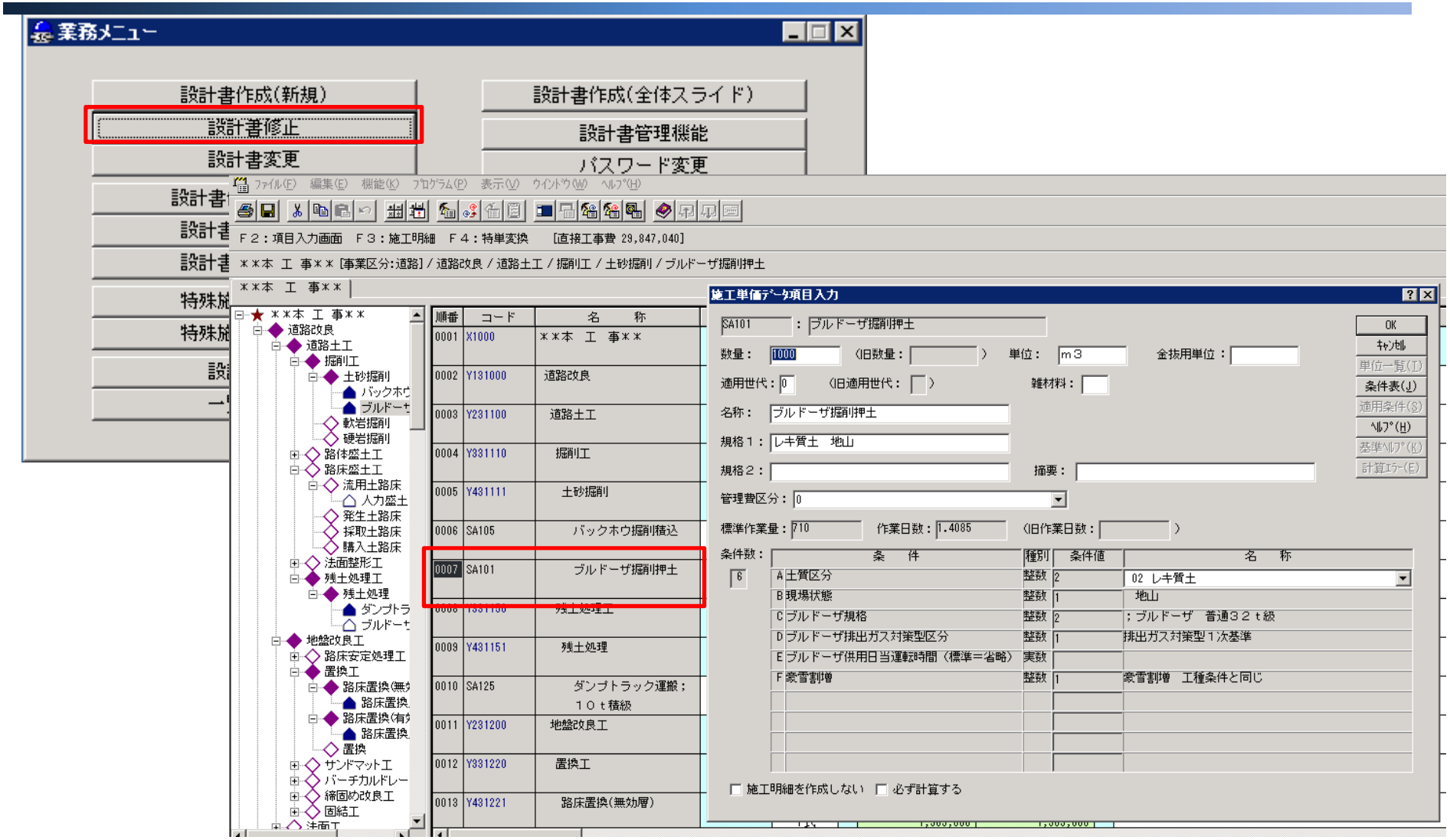
インフレスライド適用判定＆算出方法

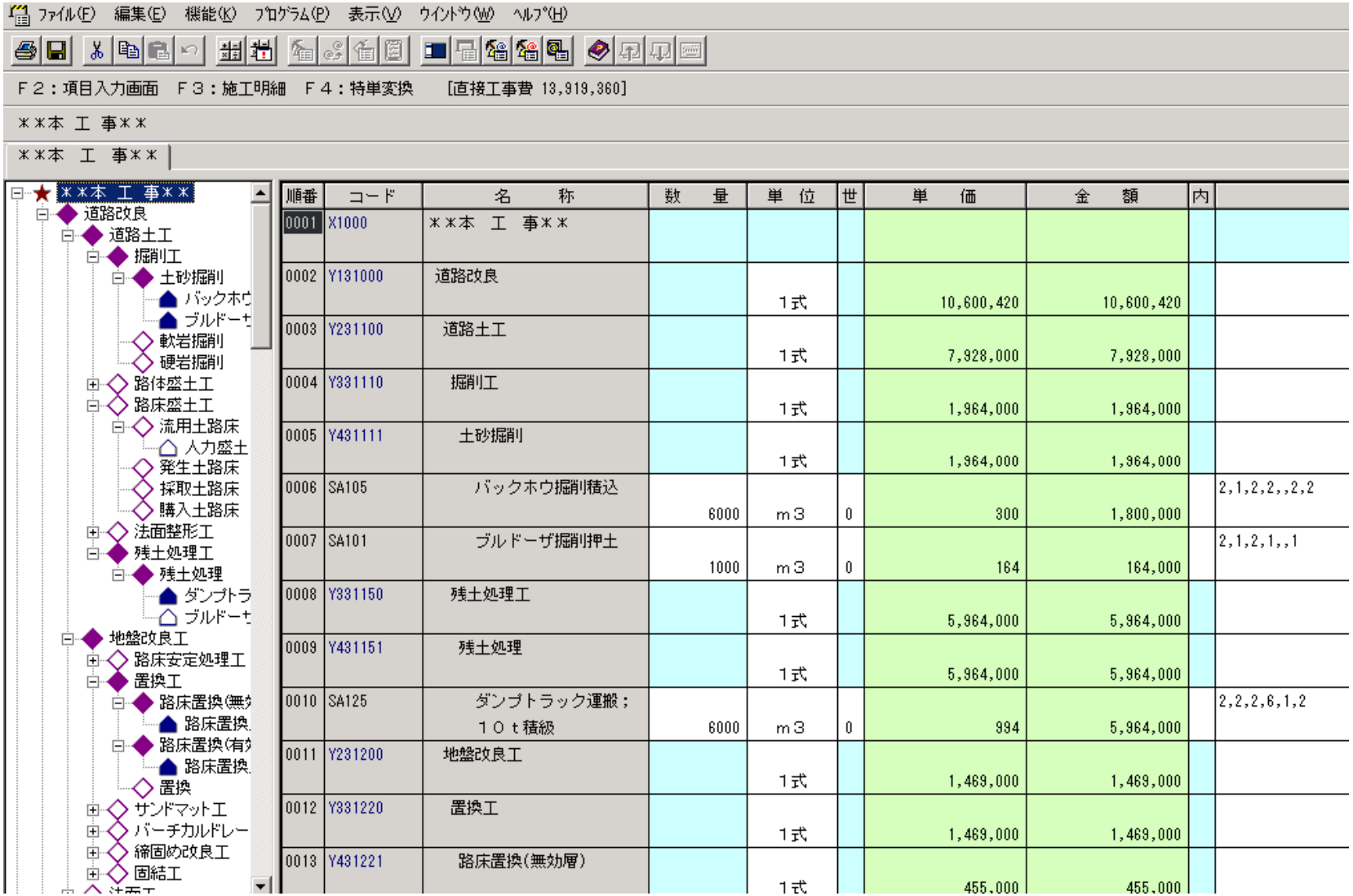
①先行指示にて実施している工種を加味した設計書の作成



変更契約を行っていないが先行指示した作業についてもスライド対象

スライド判定をするためのベースとなる設計書Aを作成

②出来高部分に相応する設計金額を算出



順番	コード	名　称	数　量	単　位	世	単　価	金　額	内	
0001	X1000	＊＊本　工　事＊＊							
0002	Y131000	道路改良		1式		10,600,420	10,600,420		
0003	Y231100	道路土工		1式		7,928,000	7,928,000		
0004	Y331110	掘削工		1式		1,964,000	1,964,000		
0005	Y431111	土砂掘削		1式		1,964,000	1,964,000		
0006	SA105	バックホウ掘削積込	6000	m3	0	300	1,800,000		2,1,2,2,,2,2
0007	SA101	ブルドーザ掘削押土	1000	m3	0	164	164,000		2,1,2,1,,1
0008	Y331150	残土処理工		1式		5,964,000	5,964,000		
0009	Y431151	残土処理		1式		5,964,000	5,964,000		
0010	SA125	ダンプトラック運搬；１０ｔ積級	6000	m3	0	994	5,964,000		2,2,2,6,1,2
0011	Y231200	地盤改良工		1式		1,469,000	1,469,000		
0012	Y331220	置換工		1式		1,469,000	1,469,000		
0013	Y431221	路床置換(無効層)		1式		455,000	455,000		

①の設計書Aを基に、基準日時点の出来高数量で設計書Bを作成

③旧単価における残工事額の算出

変更前残工事代金（P1）の計算例

	全体工事費		出来高分		残工事分	
直接工事費	あ	2,136,566,437	い	444,572,329	う	1,691,994,108
出来高率	え			20.8%		
率による共通仮設費	お	110,767,409	か	23,039,621	き	87,727,788
積上げ項目						
運搬費	く	1,146,747	け	1,146,747	こ	0
準備費						0
事業損出防止施設費		5,711,543		5,359,369		352,174
安全費		11,858,000		5,323,100		6,534,900
役務費		8,661,058		2,646,728		6,014,330
技術管理費		1,155,058		1,116,913		38,145
営繕費		11,696,000		6,500,000		5,196,000
イメージアップ費		539,000		539,000		0
共通仮設費計	さ	151,534,815	し	45,671,478	す	105,863,337
純工事費	せ	2,288,101,252	そ	490,243,807	た	1,797,857,445
純工事の出来高率	ち			21.4%		
現場管理費計	つ	547,609,333	て	117,188,397	と	430,420,936
工事原価	な	2,835,710,585	に	607,432,204	ぬ	2,228,278,381
工事原価の出来高率	ね			21.4%		
一般管理費	の	195,832,146	は	41,908,079	ひ	153,924,067
契約保証費	ふ	0	へ	0	ほ	0
一般管理費計	ま	195,832,146	み	41,908,079	む	153,924,067
工事価格	め	3,031,540,000	も	649,340,000	や	2,382,200,000
請負率	ゆ			0.89999		
工事価格×請負率	よ	2,728,350,000	ら	584,390,000	り	2,143,960,000
				P1（税抜き）＝		2,143,960,000

全体工事費 ・・・①

設計書Aで算出した金額を入力

出来高分 ・・・②

設計書Bで算出した金額を入力
（い、けのみ）

出来高分（か、し～ら）はエクセル上で自動計算

③旧単価における残工事額の算出

変更前残工事代金（P1）の計算例

	全体工事費		出来高分		残工事分	
直接工事費	あ	2,136,566,437	い	444,572,329	う	1,691,994,108
出来高率	え			20.8%		
率による共通仮設費	お	110,767,409	か	23,039,621	き	87,727,788
積上げ項目						
運搬費	く	1,146,747	け	1,146,747	こ	0
準備費						0
事業損出防止施設費		5,711,543		5,359,369		352,174
安全費		11,858,000		5,323,100		6,534,900
役務費		8,661,058		2,646,728		6,014,330
技術管理費		1,155,058		1,116,913		38,145
営繕費		11,696,000		6,500,000		5,196,000
イメージアップ費		539,000		539,000		0
共通仮設費計	さ	151,534,815	し	45,671,478	す	105,863,337
純工事費	せ	2,288,101,252	そ	490,243,807	た	1,797,857,445
純工事の出来高率	ち			21.4%		
現場管理費計	つ	547,609,333	て	117,188,397	と	430,420,936
工事原価	な	2,835,710,585	に	607,432,204	ぬ	2,228,278,381
工事原価の出来高率	ね			21.4%		
一般管理費	の	195,832,146	は	41,908,079	ひ	153,924,067
契約保証費	ふ	0	へ	0	ほ	0
一般管理費計	ま	195,832,146	み	41,908,079	む	153,924,067
工事価格	め	3,031,540,000	も	649,340,000	や	2,382,200,000
請負率	ゆ			0.89999		
工事価格×請負率	よ	2,728,350,000	ら	584,390,000	り	2,143,960,000
				P1（税抜き）＝		2,143,960,000

全体工事費 ・・・①

設計書Aで算出した金額を入力

出来高分 ・・・②

設計書Bで算出した金額を入力
（い、けのみ）

出来高分（か、し～ら）はエクセル上で自動計算

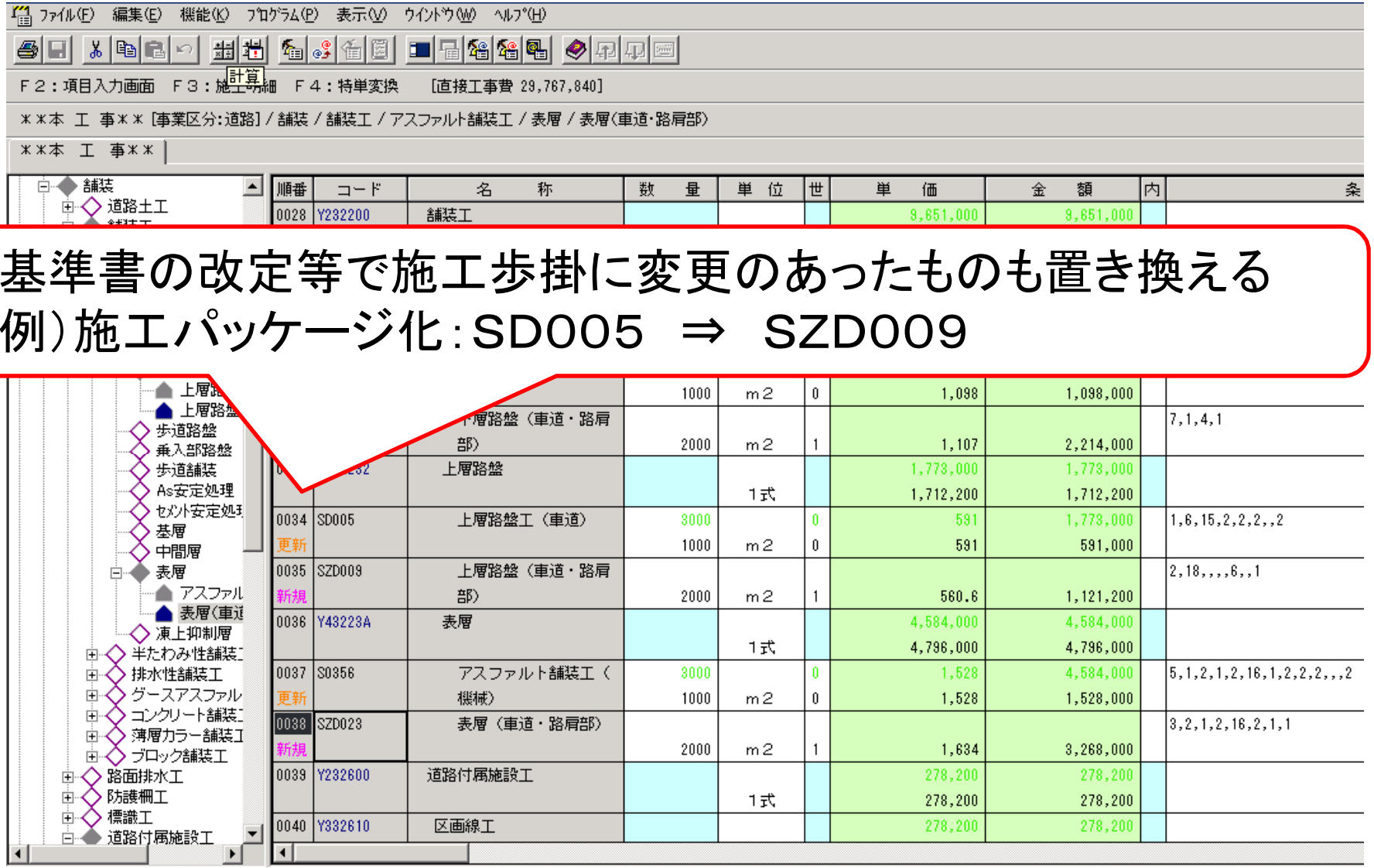
①－②

残工事分を算出

＝

P1

④残工事を新単価とした設計書作成



基準書の改定等で施工歩掛に変更のあったものも置き換える
例）施工パッケージ化：SD005 ⇒ SZD009

設計書Aを変更設計し、出来高（旧単価）、残工事（新単価）とした設計書Cを作成

⑤新単価における残工事額の算出

変更後残工事代金（P2）の計算例

	残工事（旧単価）出来高（旧単価）旧諸経費	残工事（新単価）出来高（新単価）新諸経費	残工事（新単価）出来高（旧単価）旧諸経費	出来高分	残工事分
直接工事費			ア 2,192,663,300	イ 444,572,329	ウ 1,748,090,971
出来高率			エ	20.2%	
率による共通仮設費			オ 113,313,164	カ 22,889,259	キ 90,423,905
積上げ項目					
運搬費			ク 1,146,747	ケ 1,146,747	コ 0
準備費					0
事業損出防止施設費			5,733,466	5,359,369	374,097
安全費			12,784,100	5,323,100	7,461,000
役務費			8,661,058	2,646,728	6,014,330
技術管理費			1,155,086	1,116,913	38,173
営繕費			11,696,000	6,500,000	5,196,000
イメージアップ費			539,000	539,000	0
共通仮設費計			サ 155,028,621	シ 45,521,116	ス 109,507,505
純工事費			セ 2,347,691,921	ソ 490,093,445	タ 1,857,598,476
純工事の出来高率	チ	21.4%	ツ	20.8%	
補正前の現場管理費	テ 547,609,333	ト 0	ナ 563,025,439	ニ 117,109,291	ヌ 445,916,148
補正する現場管理費					ネ 0
補正後の現場管理費			ノ 563,025,439	ハ 117,109,291	ヒ 445,916,148
補正後の工事原価			フ 2,910,717,360	ヘ 607,202,736	ホ 2,303,514,624
補正後工事原価の出来高率			ホ'	20.8%	
補正後の一般管理費			マ 211,027,008	ミ 43,893,617	ム 167,133,391
契約保証費			メ 0	モ 0	ヤ 0
一般管理費計			ユ 211,027,008	ヨ 43,893,617	ラ 167,133,391
工事価格			リ 3,121,740,000	ル 651,090,000	レ 2,470,650,000
請負率			レ'	0.89999	
工事価格×請負率			ロ 2,809,530,000	ワ 585,970,000	ン 2,223,560,000
				P2（税抜き）＝	2,223,560,000

全体工事費 ・・・①

設計書Cで算出した金額を入力

出来高分 ・・・②

出来高分はエクセル上で
自動計算

⑤新単価における残工事額の算出

変更後残工事代金（P2）の計算例

	残工事（旧単価）出来高（旧単価）旧諸経費	残工事（新単価）出来高（新単価）新諸経費	残工事（新単価）出来高（旧単価）旧諸経費		出来高分		残工事分	
直接工事費			ア	2,192,663,300	イ	444,572,329	ウ	1,748,090,971
出来高率			エ			20.2%		
率による共通仮設費			オ	113,313,164	カ	22,889,259	キ	90,423,905
積上げ項目								
運搬費			ク	1,146,747	ケ	1,146,747	コ	0
準備費								0
事業損出防止施設費				5,733,466		5,359,369		374,097
安全費				12,784,100		5,323,100		7,461,000
役務費				8,661,058		2,646,728		6,014,330
技術管理費				1,155,086		1,116,913		38,173
営繕費				11,696,000		6,500,000		5,196,000
イメージアップ費				539,000		539,000		0
共通仮設費計			サ	155,028,621	シ	45,521,116	ス	109,507,505
純工事費			セ	2,347,691,921	ソ	490,093,445	タ	1,857,598,476
純工事の出来高率	チ	21.4%	ツ			20.8%		
補正前の現場管理費	テ 547,609,333	ト 0	ナ	563,025,439	ニ	117,109,291	ヌ	445,916,148
補正する現場管理費							ネ	0
補正後の現場管理費			ノ	563,025,439	ハ	117,109,291	ヒ	445,916,148
補正後の工事原価			フ	2,910,717,360	ヘ	607,202,736	ホ	2,303,514,624
補正後工事原価の出来高率			ホ'			20.8%		
補正後の一般管理費			マ	211,027,008	ミ	43,893,617	ム	167,133,391
契約保証費			メ	0	モ	0	ヤ	0
一般管理費計			ユ	211,027,008	ヨ	43,893,617	ラ	167,133,391
工事価格			リ	3,121,740,000	ル	651,090,000	レ	2,470,650,000
請負率			レ'			0.89999		
工事価格×請負率			ロ	2,809,530,000	ワ	585,970,000	ン	2,223,560,000
						P2（税抜き）=		2,223,560,000

全体工事費 ・・・①

設計書Cで算出した金額を入力

出来高分 ・・・②

出来高分はエクセル上で自動計算

①－②

残工事分を算出

‖

P2

⑥スライド額の算出

スライド算出式

S増＝P2－P1－（P1×1／100）

P1：2，143，960，000円

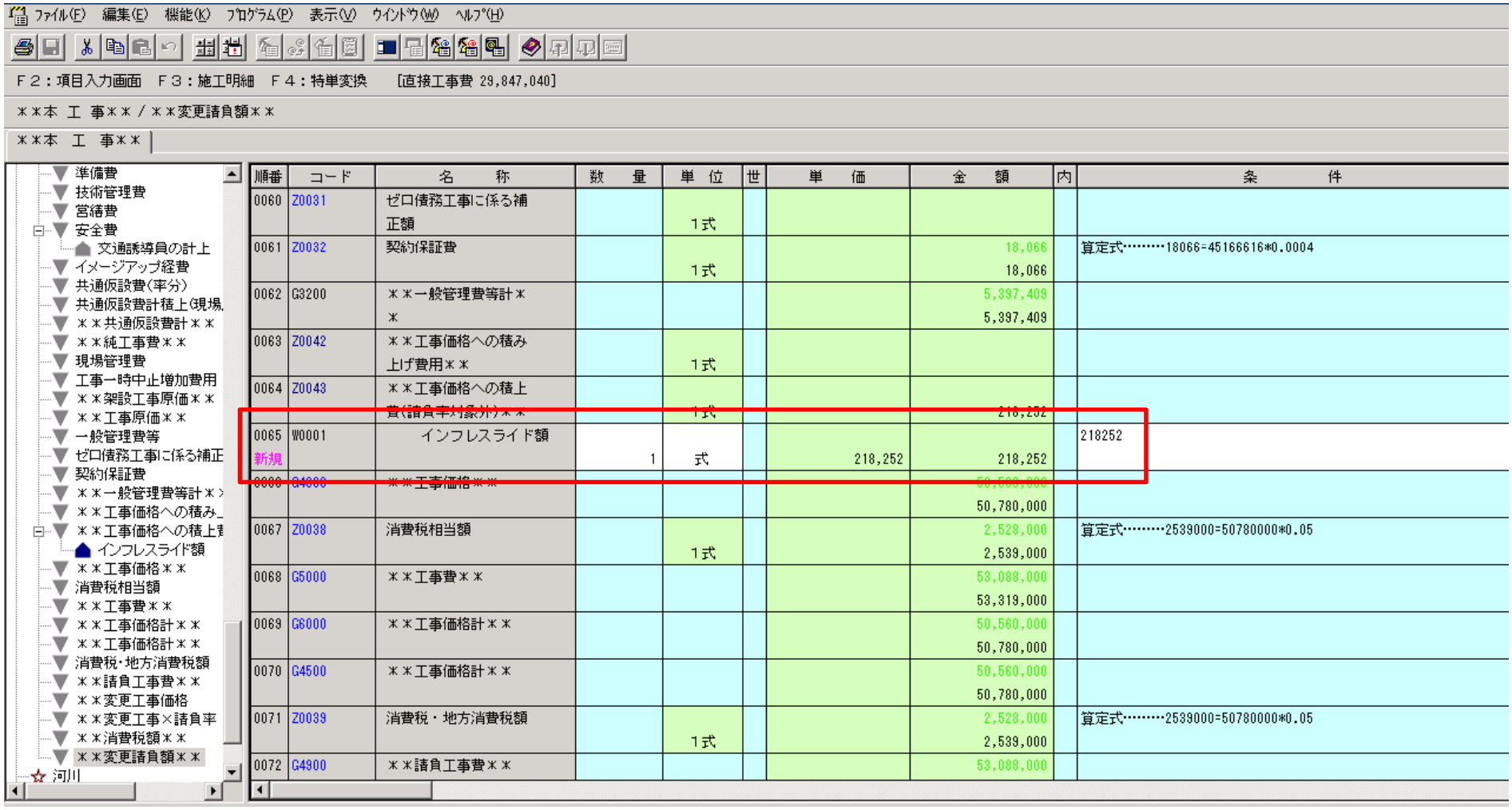
P2：2，223，560，000円

スライド額　＝　2，223，560，000　－　2，143，960，000
　　－（2，143，960，000　×　1／100）
　　＝　58，160，400円

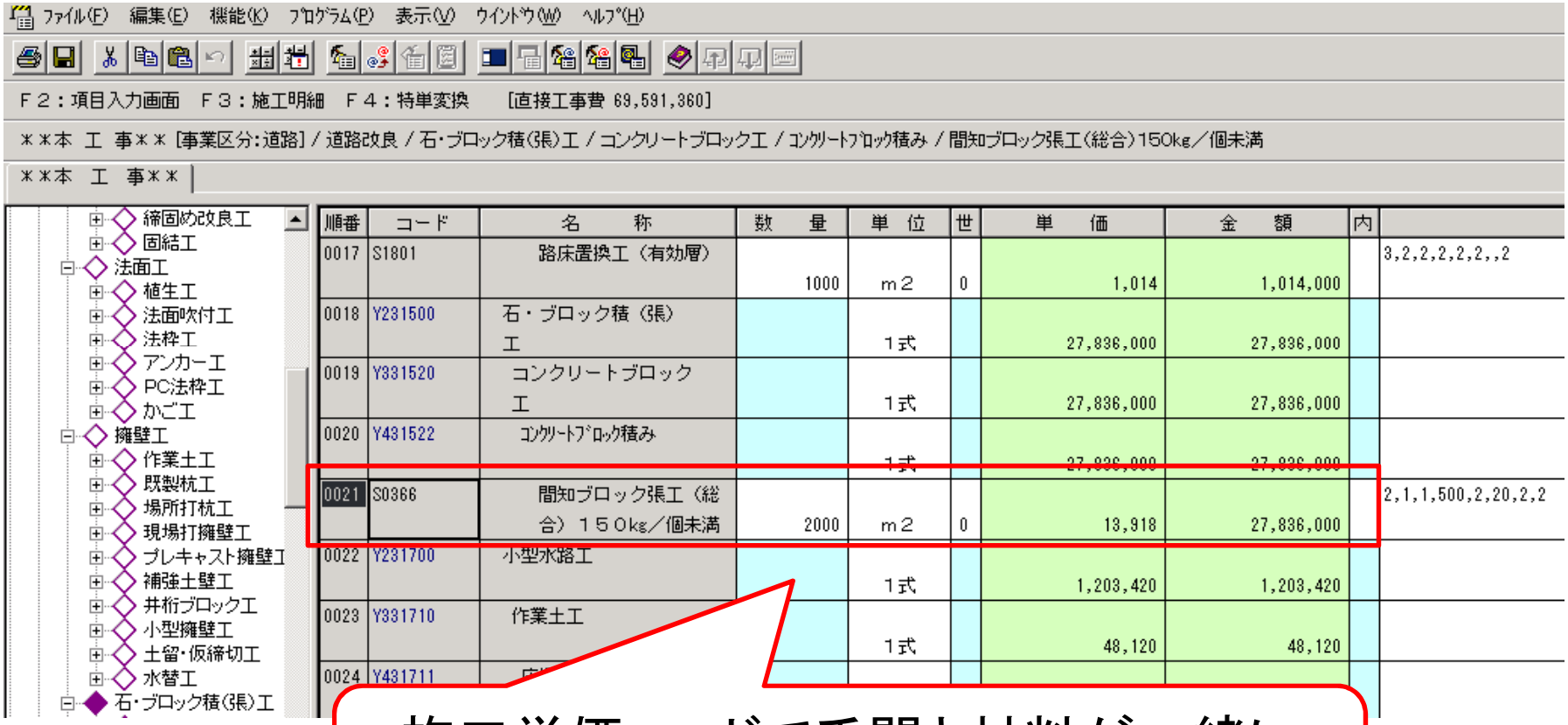
⑦スライド額の計上方法

算出したスライド額は精算変更設計時に計上する

計上方法はZ0043の配下にWコードで積上げる

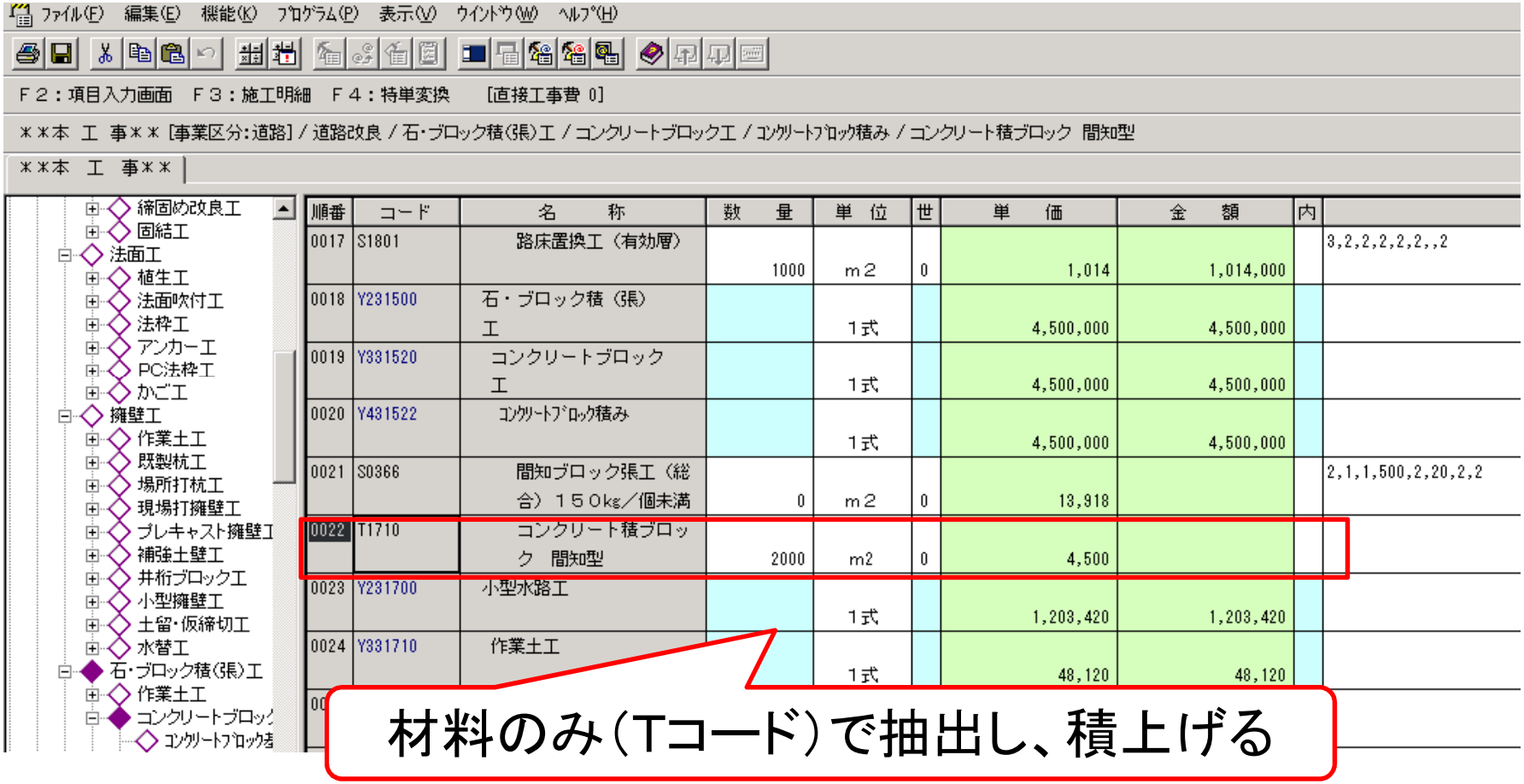


先行購入のため工事材料のみを出来形と認定した場合（積上げ歩掛）



施工単価コードで手間と材料が一緒になっているものは・・・

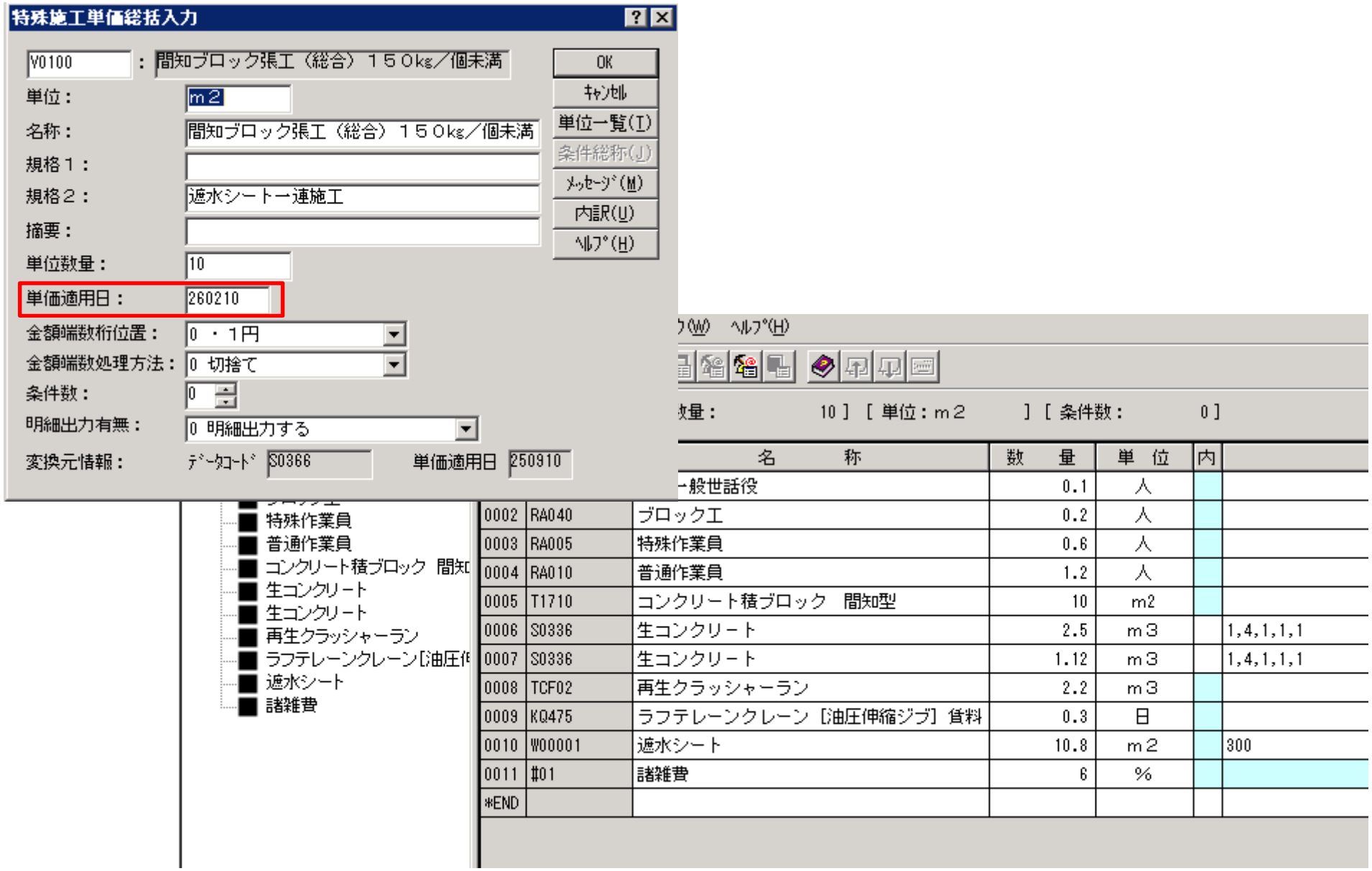
先行購入のため工事材料のみを出来形と認定した場合（積上げ歩掛）



先行購入のため工事材料のみを出来形と認定した場合（積上げ歩掛）

手間のみの歩掛を作成する⇒「特単変換」を利用

先行購入のため工事材料のみを出来形と認定した場合（積上げ歩掛）



Vコードで手間のみの歩掛を作成

先行購入のため工事材料のみを出来形と認定した場合（施工P）

ファイル(F)　編集(E)　機能(K)　プログラム(P)　表示(V)　ウインドウ(W)　ヘルプ(H)

Ｆ２：項目入力画面　Ｆ３：施工明細　Ｆ４：特単変換　［直接工事費 42,676,720］

＊＊本　工　事＊＊［事業区分:道路］/ 道路改良 / 石・ブロック積(張)工 / コンクリートブロック工 / コンクリートブロック積み / 間知ブロック張

＊＊本　工　事＊＊

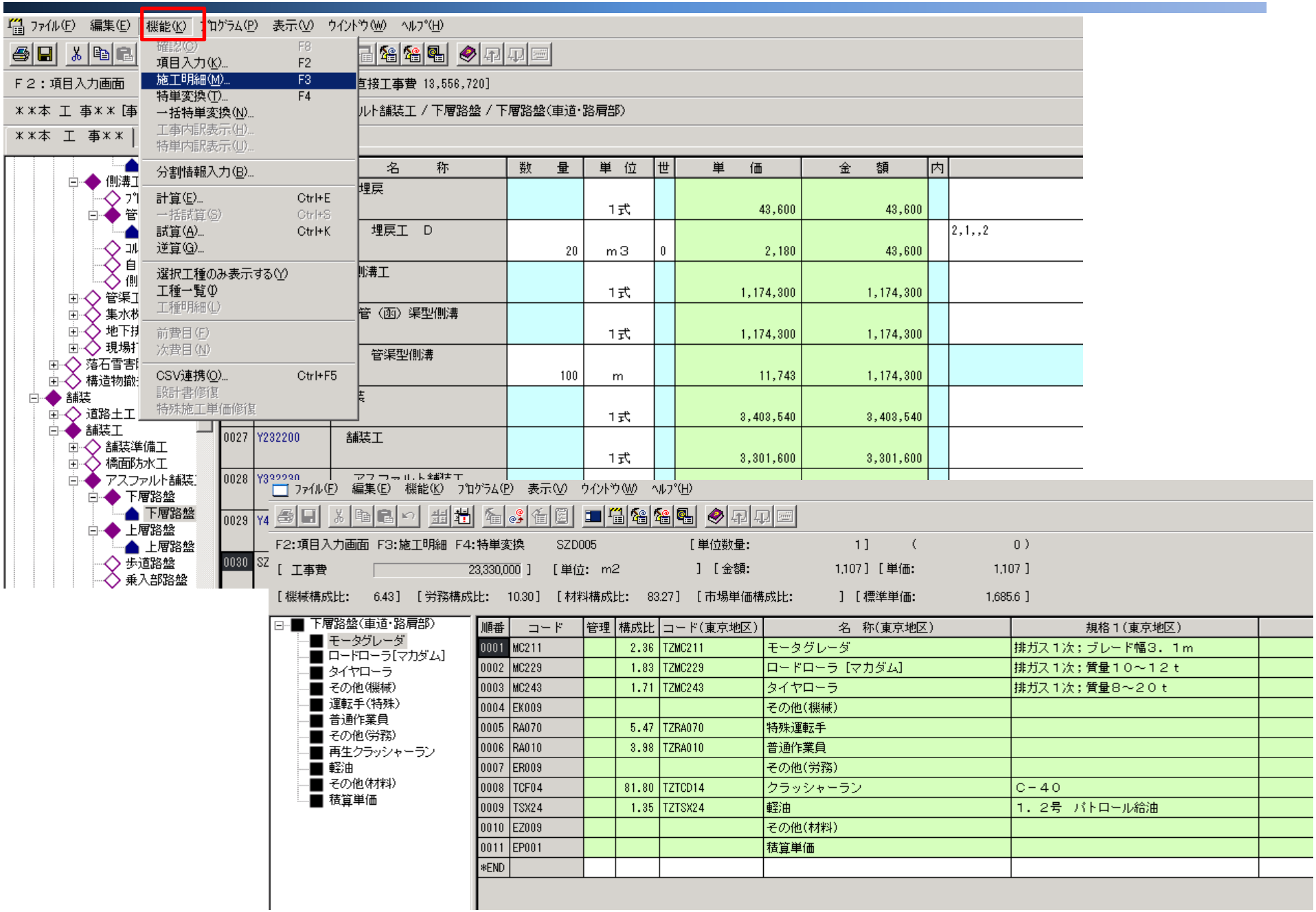
- バーチカルドレーン工
- 締固め改良工
- 固結工
- 法面工
- 擁壁工
- 石・ブロック積(張)工
  - 作業土工
  - コンクリートブロック工
    - コンクリートブロック基礎
    - コンクリートブロック積み

順番	コード	名　称	数　量	単　位	世	単　価	金　額	内	
0019	Y431522	コンクリートブロック積み		1式		29,120,000	29,120,000		
0020	SZA411	間知ブロック張	2000	m２	0	14,560	29,120,000		1,1,,1,,1,,5,1,4,1,1,1
0021	Y231700	小型水路工		1式		1,224,480	1,224,480		
0022	Y331710	作業土工							

No.15【　間知ブロック張　】
＜　積算単位：ｍ２　＞

条件区分						標準単価	機労材構成比														
間知ブロック規格	裏込材規格	裏込材10m2当り使用量	胴込・裏込コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート10m2当り使用量	遮水シートの有無		K	K1	K2	K3	R	R1	R2	R3	R4	Z	Z1	Z2	Z3	Z4	S
				1.3m3を超え1.7m3以下	有り	14,232	7.92	7.92	-	-	21.45	10.18	5.83	2.69	1.61	70.63	40.08	14.40	14.19	1.96	-

該当する材料の構成比率を施工パッケージ単価表から抽出

構成比から出来高数量を算出

先行購入のため工事材料のみを出来形と認定した場合（施工P）